

6 地域・保護者との連携

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント	
地域との連携・協力体制を構築し、保護者・地域の期待に応える学校運営を行っている	前期	良好	良好	学校支援ボランティアの協力を得ながら、様々な取組が行われている。連携も十分である。PTA活動も充実しており、会員同士の協力関係も良好である。	
	年度	良好			
評価指標		主な取り組み			自己評価B
					前期 年度
⑬保護者・地域との双方向の連携		PTAの活性化 学校支援ボランティアとの連携 平元スポーツ少年団との連携			4 4
		学校評議員会 平元コミュニティとの連携 地域行事への参加 祖父母参観日 情報の発信(学校報・学年便り・HP・ブログ)			4 4

学校の改善策	【前期→年度】	<p>学校支援ボランティアの方々とは、これまでと同様に連携することができている。朝の読み聞かせについても、月ごとに予定をお知らせすることで計画的に実施することができている。2学期以降、ボランティアの方々に入ってもらいたい授業等について、先生方からの希望を取りまとめてコーディネーターにお伝えしている。先生方とボランティアの方々が先を見通すことで、今まで以上の連携を図っていききたい。</p> <p>前期のPTA活動も、例年同様に事業を行うことができている。後期も引き続き事業を遂行していけるよう支援していききたい。また、1年半後の統合を見据え、PTA組織の再編に着手することになる。統合校のPTA活動がスムーズにスタートできるよう準備を進めていききたい。</p> <p>学校報を今年度から全戸配布にしている。学校の様子について、昨年度以上に広範囲でお知らせすることができていると思う。今後も、学校評議員会や祖父母参観日等も活用して、平元小学校の「今」を積極的に発信していくとともに、地域住民からの「声」も拾っていけるようにしていきたい。</p>
	【年度→次年度】	<p>保護者アンケートの結果を見ると、全ての項目で肯定率に向上が見られる。元々数値としては高かったが、さらに良い数値になったことは評価して良いと思われる。学校支援ボランティアの方々やスポ少との連携もスムーズで、学校の様々な活動を滞りなく行うことができた。また、閉校・統合に向けて具体的なことが進んでいく中で、これまで培ってきた地域との連携や協力体制がより強固なものになっていると感じる。このつながりを大切に、平元小としてのラストイヤーを思い出に残るものにしていきたい。</p> <p>学習発表会、グラウンドの草取りや池掃除、祖父母参観、期末PTA等の機会を通じて、例年以上にたくさんの方々小平元小学校に来てくださった。情報の発信がある程度うまく出来ていること表れだと思ふ。来てくださった方々は、一様に満足した表情のようにお見受けした。今後も、双方向の連携を目指して取組を続けていきたい。</p>

【各種データ】					
保護者アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑩	子どもは、学校での様子や出来事などを、家族によく話している。	3.2	86	3.4	95
⑱	学校は、学校だより・学年だより・HP等を通して、教育活動や子どもたちの活動の様子を分かりやすく伝えている	3.5	97	3.7	100
㉒	学校と保護者が、PTA活動や行事などを通して、よく連携し合っている。	3.5	95	3.6	100
児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑥	子ども会や地域などの行事にも進んで参加していますか。	3.5	88	3.7	93
職員個人評価		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑬	PTAの活性化 保護者アンケート 学校支援ボランティアとの連携 平元スポーツ少年団との連携 学校評議員会 平元コミュニティとの連携 地域行事への参加 祖父母参観日 情報の発信(HP・ブログ)	3.3	100	3.7	100
		3.3	100	3.6	100

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準
5 実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4 実現状況は良好で意欲もある／達成率80~90%、前年度比103~107%
3 実現状況は概ね良好／達成率60~79%、前年度比98~102%
2 実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50~59%、前年度比93~97%
1 実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下